

である水道局の首切りに対する憤激の甚しき事である。兄弟たちを切り殺す所、  
斗はふいはない。

二月二十三日

別記二

土木局後業員大會に送るメッセーヂ

土木局後業員諸君！

全協日本土木建築労働組合準備會東京支部

大量職首は目の前と迫つて来た。一人二人ともうこぼく首切が始まつてゐる。市  
畜局の復興完成を名とて千三百の兄弟をこの失業の渦の中と投げ出さう  
とてゐる。諸君が今首切られたら何うするだらう。たとえ二百や三百の千を  
もらつた所で、この不景況は肉責が始つて来る。涙は無い。今失業したら婢の  
小供を何うして食はして行くのだ。首切られたら又口が苦いだらう。なとも思つてゐたらど  
こも無い同僚だ。一掃失業したら最後死ぬまで就業などありつけない。諸君が今日  
斗争を見たいとあたら何うするだらう。おとどろく傷いさるたら市役所の人共もこの状態だから  
三百アツテ首切つては騒ぎはあつて収まる。今月中に首切つた騒ぎが出来てゐる

土木局後業員諸君！

首切は目の前と迫つて来る。今月中に決行する。斗争を今日一日は合す事が  
アツテ首切を承認する事になる。騒ぎはあつて収まる。今月中に首切つた騒ぎが出来てゐる